

II 特別シリーズII

科学技術
振興機構 『さくらサイエンスプラン』 友情と感激

第140回

島根大学の活動報告



杉江実郎
(島根大学教授・
附属図書館長)

院生等11名を招へい、日中合同
ワークショップで研究交流促進

2018年1月16日～23日の間、「JST さくらサイエンスプラン」の支援により、中国・閩南師範大学数学与統計学院の大学院生(碩士課程)10名と引率教員1名を招へいした。本学と2014年に大学間交流協定を締結した閩南師範大学は中華人民共和国の福建省にある重点大学の一つである。名称に「師範」とあるが、学生への教育は教員養成だけに止まらず、法学系・文学系・理学系・工学系など広範な教育にわたっている。現在の学院(学系)数は20余りであり、専攻数58を有している。本学は閩南師範大学から毎年2名の交換留学生を受け入れてきた。本プログラムが実施された時点においても、2名の閩南師範大学生が松江市内で生活していた。また、研究交流もここ数年盛んに行われていた。2014年から2017年までの間に8名の閩南師範大学の教員が本学を訪れ、本学からは5名の教職員と8名の大学院生や学部生が閩

南師範大学を訪問した。このような学生間交流・研究交流の実績の下、今回の「JST さくらサイエンスプラン」が実施された。

●数理科学分野の人材を育成

本プログラムの目的は、学業成績によって厳選された数学与統計学院の優秀な大学院生と本学大学院総合理工学研究科数理科学専攻の博士前期課程および後期課程の大学院生が、学生主体の研究会「日中合同ワークショップ」を開催し、自身の研究内容や得られた成果の発表を通じて研究交流を促進することであった。また、島根大学数学科の教員数名が本研究会で発表した学生たちを研究指導することにより、将来の数理科学分野における日本と中国の研究交流に貢献できる人材を育成するとともに、JST



大阪市立科学館の玄関前で



国際交流担当副学長を表敬訪問

T科学技術交流支援情報提供事業機関である大阪市立科学館を訪問し、招へい学生への最先端科学技術への理解を深めることとであった。具体的な内容とその趣旨は以下の通りである。
①本学で開催する「日中合同ワークショップ」に参加し、自身の研究内容や得られた成果を発表するとともに、本学などの大学院生等と交流して、意見交換を



研究集会終了「2日間お疲れさま」



きれいな図書館の前で館長と記念撮影



国宝・松江城天守閣を背景に



抹茶を点てるのは難しい。でも美味しい

招へい学生のうち2名は、今年4月から本学の交換留学生となり、現在、充実した学生生活を送っている。また、本プログラムが大きく寄与して開設された閩南師範大学との4+2プログラム(閩南師範大学の学部4年間を修了後、島根大学の修士課程2年間への進学を目指すプログラム)が今年度から始まり、今後、本学修士課程に閩南師範大学の優秀な学生が進学してくることが期待できる。これらの意味からも、本「JSTさくらサイエンスプラン」は大成功であったと言える。

最後に、本プログラム実施に当たり、多大な協力を頂いた関係者各位、科学技術振興機構に感謝申し上げます。

行。これにより、将来の数理科学分野における日本と中国の研究交流に貢献できる人材を育成する。

②「日中合同ワークショップ」において発表した内容について、「幾何学」・「組み合わせ数学」・「数理生態学」・「数理統計学」など総合理工学研究科数理領域の複数の教員から適切なアドバイスを受けることにより、専門知識の裾野を拡げるとともに、本学の交換留学制度を利用して、再来日を希望する閩南師範大学の学生たちを増やす。

③本学の学生とともに、関西圏にあるJST科学技術交流支援情報提供事業機関(大阪市立科学館)を訪問する。これにより、日本の最先端科学技術に対する彼らの理解を深め、興味を喚起する。

④松江の歴史的・文化的施設を見学し異文化を体験する。これにより、日本の魅力を彼らの心に強く印象付け、留学のための再来日に繋げる。

●日本文化や伝統の体験も再来日の契機に

今回の「JSTさくらサイエンスプラン」によって、閩南師範大学の学生たちは来日前によく練習した成果が実り、大学院で学習・研究してきた内容を思う存分発表することができた。また、本学の教員や大学院生たちの質問に答えるという経験を通して、自分の強みと弱点を意識できるとともに、研究の専門分野が近い同世代の日本人青年と交流することで多くのことを学んだと思われる。また、日本の科学技術や生活・文化・伝統の一端に接した経験は、今後の彼らの人生にとってかけがえない思い出となる。その経験や思い出が再来日の契機となり、ひいては島根県や日本各地で仕事や研究をすることに繋がることとが期待できる。

●4+2プログラムも今年度から開始

全プログラム修了後、「JSTさくらサイエンスプラン」の修了証とバッジが贈呈され、招へい学生は皆それぞれに本プログラムで得たものを胸に、誇らしげな表情を浮かべていた。